

科目名	安全政策論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法律学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Safety policy	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
			開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	まるや あきひこ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	丸谷 明彦	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	社会における安全政策全般について学ぶ。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 日本の治安情勢について説明ができる。 2 社会の安心・安全のための政策についての知識が身につく。 3 自身の立場で安全政策に貢献すべきことについて考えることができるようになる。				
授業概要	安全政策は、国だけでなく民間企業や社会全体で取り組むべき問題です。ハード面では、高度経済成長期に整備されたインフラは、補修や更新すべき時期に来ており、早急な対策が求められています。それらの対策についても学びます。また、犯罪や災害の現状と対策についても個々の政策等を学びながら、リスクやクライシスマネジメントのあり方について考察します。				
授業計画					
第1回	安全政策論とは（全体のガイダンス）				
第2回	現代社会とリスク				
第3回	リスクマネジメント				
第4回	テロリズム・テロ対策概論				
第5回	テロの種類と歴史				
第6回	日本におけるテロ問題				
第7回	テロから身を守る方法				
第8回	前半のまとめ・中間試験				
第9回	経済安全保障概論				
第10回	経済安全保障各論				
第11回	サイバー問題				
第12回	フェイクニュース問題				
第13回	謀略論から身を守る方法				
第14回	リスクコミュニケーション				
第15回	全体のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業の前にテーマについて、ネットなどで調べ、大まかなイメージをつかんでください。その際、疑問や質問も考えておいてください。（2時間程度） 2. 毎回、前回の講義内容の確認を行いますので復習をしっかりと行ってください。（2時間程度）				
履修条件 受講のルール	適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。				
テキスト					
参考文献・資料	外務省ホームページ（テロ対策）、防衛省ホームページ（経済安全保障）、総務省ホームページ（フェイクニュース）				
成績評価の方法	【試験（中間40%、期末40%）、受講態度20%】				

	<p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	月曜日 13:00～14:30・火曜日 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として公共の安全に関する業務に携わってきました。この授業をとおして、国や地方自治体の実際の防災・テロ対策や官民連携の実情についてお話したいと思います。
学生へのメッセージ	日本を取り巻く情勢が大きく変化する中、安心・安全な社会の実現について興味のある方々の積極的な参加を期待しています。身近な具体例を活用しながら、皆さんが、これからどのようなことができるのか考えていきましょう。